

自然環境・
景観分野

文化・芸術
分野

自然環境・景観分野

IV

1 潤いのある環境づくり 自然環境の保全

現状と課題

金沢は「森の都」と呼ばれ、都市部には兼六園や金沢城をはじめ、神社・仏閣やまちなみの緑、犀川や浅野川によってつくられた河岸段丘斜面の緑等が見られるほか、卯辰山や医王山、河北潟、日本海の海岸など、多様な自然環境に恵まれています。しかし、森林や水田の減少、水辺環境の悪化等が見

られ、生き物の生息、生育環境にも影響を及ぼしています。自然環境は様々な公益的機能を有していることから、今ある自然環境を保全、回復することはもとより、新たな自然環境を創出していくことが重要な課題となっています。

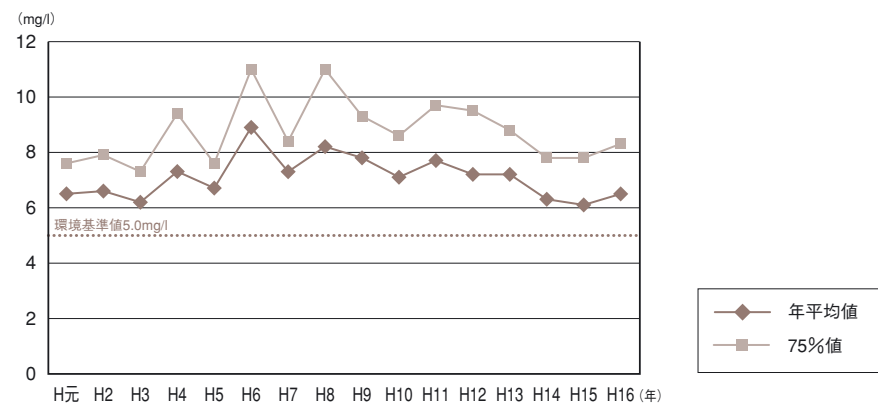


こなん水辺公園



桜景色の浅野川

■河北潟の中央COD濃度の推移



基本方針

金沢の基盤である森林、河川、湖沼、海岸を市民とともに守り育てていきます。特に、自然を構成している多様な動植物相と生態系とその環境を保全するとともに、在来種の維持に努めていきます。また、河北潟では水質汚濁の低減に努めるとともに、

魚類生息環境の保全や水面の維持及びガン、カモ類などの生息環境の保全を図ります。一方、卯辰山・野田山丘陵地や河岸段丘では、斜面の保全・育成を市民とともに積極的に行っていきます。

事業計画（主な事業とその内容）

〔河北潟の水質浄化の研究・推進〕

公共下水道等生活排水処理施設の整備や水質浄化指導者育成事業、その他の普及啓発事業等により、潟と干拓地との共存をめざした水質浄化対策の取り組みを流域全体で推進します。

にかかる被害防止のため外来種対策パトロール等を実施し、被害の拡大防止に努めます。

〔保全区域の指定〕

自然環境保全区域や特別緑地保全地区、緑地保全地域、緑化地域等の指定・区域拡大を通じて、カタクリやギフチョウ等の里山環境や自然環境、緑の適切な管理を推進します。

〔こなん水辺楽校の運営〕

自然との共生をテーマに整備した「こなん水辺公園」で、市民が楽しみながら環境学習や自然体験を行う場として「こなん水辺楽校」を設立し、稲作体験や動植物観察会等を実施します。

〔生物種の生息環境の保全〕

自然環境保全協定に基づいて、希少生物種の保全対策を進めます。また、生態系等

〔海岸の防風・防砂の保安林の整備〕

防風・防砂など森林特有の機能を第一に保全するとともに、森林の機能を活かして設置した散策路やグランドゴルフ等が楽しめる広場を通して、市民に自然とふれあえる場、健康増進の場を提供します。

市民参加と協働

- ・市民による竹林伐採や下刈り等の緑地維持管理作業の実施
- ・ボランティア組織による協定締結地での維持管理活動
- ・市民の協力や自主的な活動による外来種の放出防止や除去作業
- ・市民による生き物のすめる水辺環境の再生・維持作業

自然環境・景観分野

自然環境・
景観分野

文化・芸術
分野

IV 1 潤いのある環境づくり 緑化の推進

現状と課題

金沢市では「緑の都市宣言」に則り、緑豊かな環境を守り、育むまちづくりを推進しています。その中で「地球温暖化の防止」、「緑豊かな環境の形成」、「生活環境の整備」、

「防災機能の整備」を掲げて、市民協働の緑あふれるまちづくりに取り組んでおり、引き続きこれらの取り組みを推進していく必要があります。

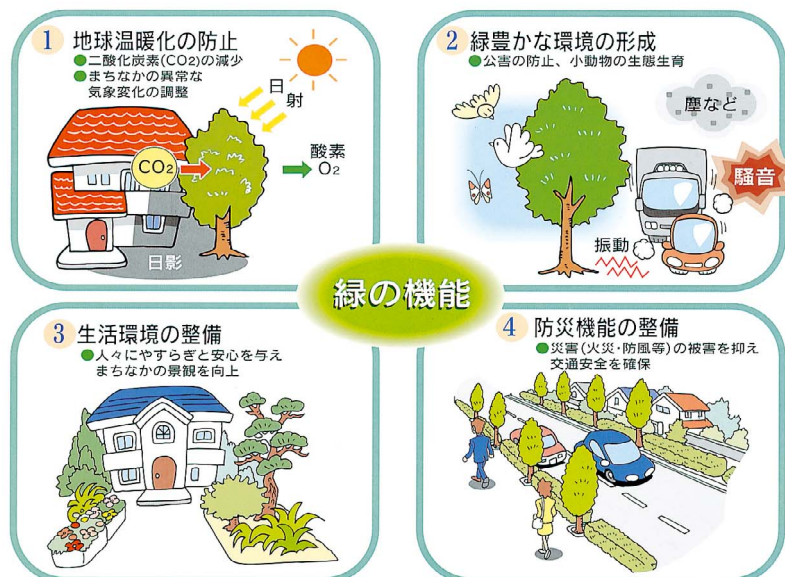


緑の相談員



市民植樹

■緑の機能



基本方針

緑はすべての生命の根源であるとの認識に立ち、失われゆく緑を守り、育て、創り出すとともに、清潔で潤いのある明るく住

みよい環境をつくるために、市民総ぐるみの運動を展開することにより、市民の緑化・美化意識の高揚を図ります。

事業計画（主な事業とその内容）

〔緑の基本計画の見直し〕

景観緑三法[※]の施行を受けて、様々な分野からの「緑」に関する現状を知り、学びながら、緑化推進の指針を再確認するため、緑化のマスタープランである緑の基本計画を見直します。

〔公園愛護委託及び公園等里親（アダプト）制度[※]の推進〕

市民にとって身近な公園等について、ごみ拾いや草刈り等を地元町会等に委託する公園愛護委託を進めていきます。また、市民が公園等の里親となって行うボランティア活動を金沢市が支援する公園等里親（アダプト）制度を推進します。

〔保存樹・保存樹林、景観樹・景観樹林の指定〕

緑の保全を進めるため、保存樹・保存樹林を指定し、所有者に管理奨励金を交付し

ます。また金沢市独自で、保存樹等に満たない樹木においても景観樹・景観樹林に指定し、貴重な緑の保全に努めていきます。

〔市民協働の森づくり〕

市民の緑化に対する意識の高揚を図るため、在来種の苗木を市民参加によって植樹し、緑あふれるまちづくりを推進します。また、小学校児童の協力で在来種の種まきを行い、順調に育った苗を再び植樹に使用していきます。

〔緑と花の相談員・緑の少年団の育成〕

花や緑に関心を持って自主的、自発的に金沢市と協働して、地域緑化をリードする「緑の相談員」や、子どもたちが地域での緑化・美化に取り組む「緑の少年団」を設けるとともに、様々な緑化活動や組織の育成に努めます。

市民参加と協働

- ・花苗の植栽や水やりなどの維持管理を行うための市民参加
- ・地元町会等への公園愛護委託の実施
- ・町会による都市樹木害虫防除の取り組み
- ・市民ボランティア団体などによる公園等里親（アダプト）の活動

※景観緑三法
良好な景観の形成に資することを目的に、景観法の新たな制定と、それに伴う屋外広告物法や都市緑地保全法等の一部改正など、関連法令の総称で、平成16（2004）年12月に施行されたもの。

※公園等里親（アダプト）制度
市民等が身近な公共空間である公園等の里親となって、公園等の利用及び美化を促進し、まちづくりに対する市民の意識の高揚を図るため平成17（2005）年度より導入。

自然環境・
景観分野

文化・芸術
分野

自然環境・景観分野

IV

1 潤いのある環境づくり

中山間地域の振興

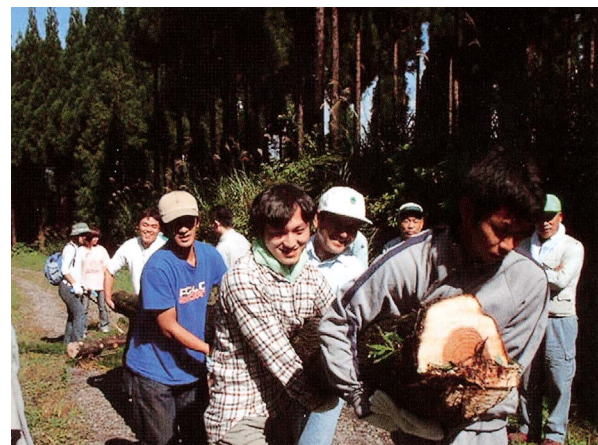
現状と課題

金沢市の中山間地域は、農林業の担い手不足や遊休農地・放置森林の増加等により、中山間地域が本来持っている国土や環境の保全、災害の防止、大気浄化等の公益的機能が損なわれつつあります。今後と

も中山間地域の農林業の担い手を育成するとともに、農林業・自然・文化等の地域資源を活かした農山村づくりを模索していく必要があります。



多くの市民が参加した森づくりのイベント



「里山ワーキング・ホリデー」事業でのボランティアの活動風景

■中山間地域の農業人口・農業就業人口

年次	農家人口(人)		農業就業人口(人)	
		うち65歳以上		うち65歳以上
平成7(1995)年	6,097	1,481(24%)	1,294	649(50%)
平成12(2000)年	5,275	1,504(29%)	1,314	791(60%)

■中山間地域の耕地面積・耕作放棄面積

年次	農家数(戸)		耕地面積(ha)	
		うち耕作放棄地を持つ農家		うち耕作放棄地
平成7(1995)年	1,321	440(33%)	1,116	136(12%)
平成12(2000)年	1,167	697(60%)	1,108	164(15%)

基本方針

中山間地域の公益的機能の維持と農林業の生産振興を図るため、農業協同組合、森林組合等との連携や都市との交流等により、担い手の育成・確保、農地や森林の整

備・保全、地域資源を活かした活性化を推進します。また、集落間道路や上水道、農村下水道の整備を進めることで、生活環境の向上を図ります。

事業計画(主な事業とその内容)

〔農地の保全〕

中山間地域等直接支払制度[※]等の活用により、農地及び農村景観の保全を図ります。また、遊休農地の解消と有効利用により、地域の特性にあった農産物の生産を推進します。

〔都市との交流の推進〕

地域特産物の直売所や市民農園の設置、湯涌みどりの里、医王の里等の施設利用による農林業体験を通じて、都市との交流を図り、地域の活性化や農地・森林の保全を推進します。

〔ふるさとの森づくり制度の推進〕

ふるさとの森づくり協定を締結した地域が進める地域ぐるみの森林の保全・整備や、森林とふれあう機会の創出、木材利用の推進等を支援します。また、林道や間伐材搬出作業路の整備を進めます。

〔地域情報格差の是正〕

情報の地域格差は近年改善の方向にありますが、中山間地域では依然サービスが受けにくい地域もあり、その格差是正に努めます。

〔生活基盤の整備〕

中山間地域の生活環境の向上を図るため、集落間連絡道路や上水道、農村下水道の整備を進めます。

市民参加と協働

- ・市民の農林業体験等を通じた中山間地域や農林業に対する理解促進
- ・森林ボランティア、オーナー制度等を通じた市民の森林や農地の保全活動の推進

※中山間地域等直接支払制度
農業・農村が持っている洪水の防止や水源の涵養等の多面的な機能を維持するため、生産条件の不利な中山間地域等において、集落で共同して農地等を保全する取り決め(集落協定)に基づき、農地の耕作、農道・水路の維持・管理及び農業生産活動等を行う農業者に交付金が交付される制度。